

# 「柴刈り」復活プロジェクト

～桃太郎の「お爺さん」の仕事を手感せよ！～

## アイデアの概要

- 目的 : 県の財産である「森林」を「手軽に」活用する。
  - ゴール : 「森林が生み出すエネルギー」を参加者個人が「手軽に」利用している状態。
  - 手法 : 枝打ちで放置された枝を焚火の燃料に利用する。
- 

## アイデアの具体的概要

- 「柴刈り」復活プロジェクトで、解決したい2つの課題

### 解決したい課題①焚付用の小枝が入手できない！」

キャンプの楽しみの一つが焚火。

焚火に使う「薪」は、多くの場所で販売されていますが、  
焚付に使う小枝はどこにも販売されていません。



### 解決したい課題②「枝打ちされた枝を活用したい！」

森林管理の重要な作業である枝打ち。

切った枝はそのまま放置される事が多い。

これって、「もったいない」と思いませんか？

- この2つの課題を一気に解決できる提案！

それが…「柴刈り」復活プロジェクトです。



「柴刈り」とは、小さな雑木や枝を野山から採集する事。

昔の人々は、かまどなどの燃料として「柴」を利用していました。

森林をエネルギー源としていた先人の知恵を現代に復活させて、  
森林活用に繋げたい！

## アイデアの具体的概要（つづき）

### ●プロジェクトに参加してほしい人は？ 県内に多数あるキャンプ場を訪れるキャンパー達



プロジェクト参加者は「認定制」とします。

（一定の基準を満たした方を対象とする事でルールと安全を確保）

認定参加者は、指定されたエリアで「柴刈り」ができる。

キャンプ場では、自分で刈った柴で焚火（エネルギー活用）ができる。

---

### ●「柴刈り」復活プロジェクトの運用方法

認定参加者は、「柴刈り」が可能な森林エリアを、  
スマートフォンの専用アプリで検索。



目的のキャンプ場周辺や、  
キャンプ場へ行く途中の森林から、  
柴刈りする場所を選びます。

管理者は「柴刈り」してほしいエリアをアプリ上で提案。

使用者の位置情報を把握しての安全管理や、  
注意事項なども、アプリを通じて連絡。

---

### ●将来の野望

#### ステップ①

認定参加者を対象とした森林環境教育で、  
参加者の「森林に対する意識」を引き上げる。



#### ステップ②

意識が高まったプロジェクト参加者には、  
森林管理にも協力してもらおう。  
（枝打ち・下草刈りなど）



#### ステップ③

最終的には参加者が「森の近くに移住したい」  
・・・なんて事になれば嬉しい(^^♪



---

※「手軽さ」重視のプロジェクトなので、  
アジャイル思考で進めたいと考えます。

以上